

重点課題 ◎「基礎・基本」定着状況調査 ◇全国学力・学習状況調査

◎ 「書くこと」の領域において、「書いた文章を読み返し、読みやすく分かりやすい文章にすること」叙述の仕方の確認に課題がある。
(I四3 通過率 0% 県通過率 34.6%)

◇ 「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の領域において、「事象や行為などを表す多様な語句についての理解」に課題がある。
(A9五 通過率 16.7% 全国通過率 35.8%)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業等)

◎ 分かりやすい表現にするための推敲の指導を継続的に行うとともに、主語と述語の関係を意識する必然性のある言語活動を仕組む。推敲前後の文を比較させて、主語を明確化させることで、読みやすくなったり、相手に伝わりやすくなったりする実感をもたせる。

◇ 日常生活や社会生活の中で使われる、事象や行為などを表す多様な語句について理解を深め、話や文章の中で用いる語彙を豊かにしていく。読書活動をする中で出会った多様な語句も取り上げて指導する。

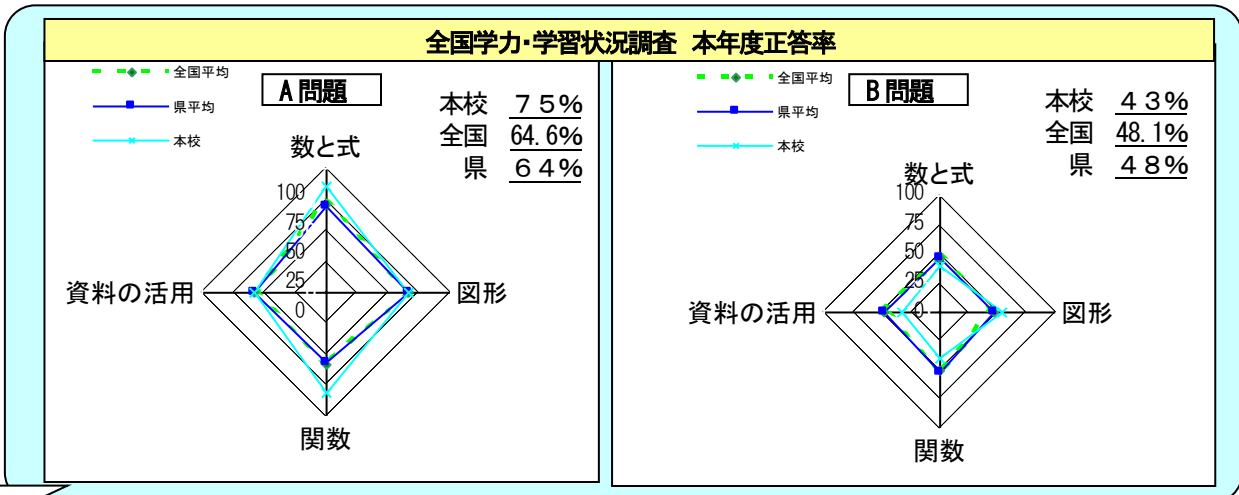
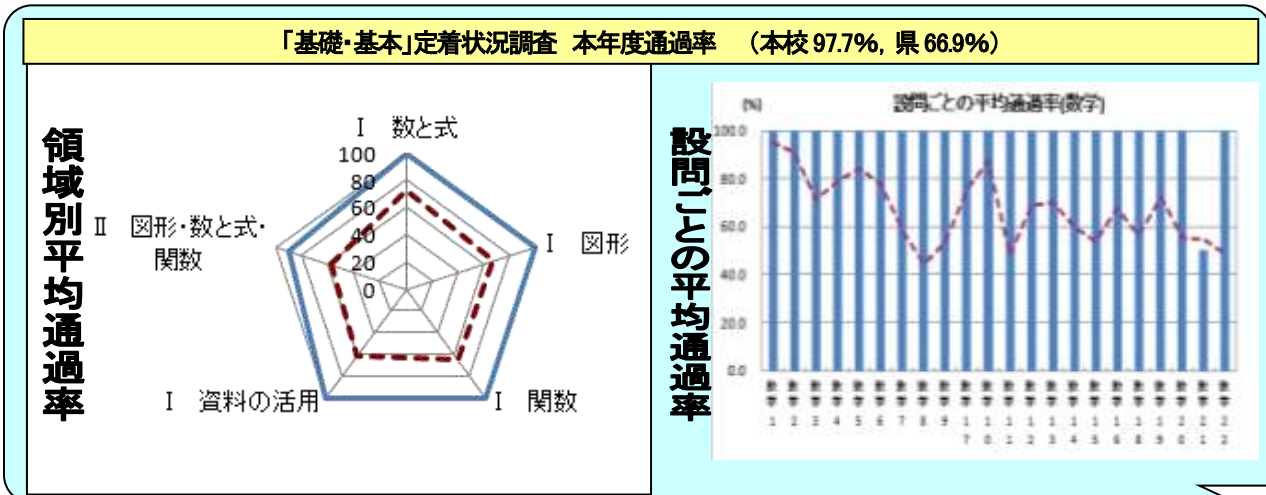
※ 引き続き「文章を構成する力」に重点をおいた小中一貫カリキュラムを実践・検証する。段落相互の関係に留意しながら、根拠となる事実を明確にして自分の考えを書くことができるようにする。

◎「基礎・基本」	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		2年生 H29 「基礎・基本」類似		2年生 H29 「基礎・基本」		1年生 H29 「基礎・基本」	
目標値		50%		100%		75%	
実施後数値		50%		100%		75%	

◇全国学力	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		3年生 H29 「全国学力」類似		3年生 H29 「全国学力」		2年生 H29 「全国学力」	
目標値		50%		80%		100%	
実施後数値		50%		67%		50%	

来年度に向けて

主語を明確化することで、読みやすくなったり相手に伝わりやすくなったりするという実感を持たせる指導を行う。また、語彙を豊かにするために読解トレーニングや幅広い読書活動を工夫して設定していく。



重点課題 ◎「基礎・基本」定着状況調査 ◇全国学力・学習状況調査

◎ 関数の領域 II 1 2 (1) 事象の数学的な解釈の問題に課題がある。
(通過率 50% 県通過率 54.7%)

◇ 数と式領域 B 2 (2) 与えられた説明の筋道を読み取り、事象を数学的に表現する問題に課題がある。
(通過率 16.7% 全国通過率 44.1%)
誤答例 $6n$, $n-2$, 数で答える

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業等)

◎ x , y の関係式が分数だったので、 x が分母にくる反比例の式とうっかり間違えたようである。比例、反比例の式や表やグラフも十分理解できているので、もう一度徹底して復習をし、2年次で学習する
1次関数でも関連付けながら、学習を深めていく。

◇ 規則的な数の並びの問題で、答えを文字を使って表すことはできている。しかし、他の解き方などいろいろな考え方があるため、自分の解き方以外の理解が不十分であると考えられる。ペアで説明し合うなど、自分の言葉で説明できる場を設定し理解を深める。

※ 蒲刈中学校区では、数学的表現を用いながら筋道立てて説明すること、根拠を示して説明することを小中一貫して指導する。

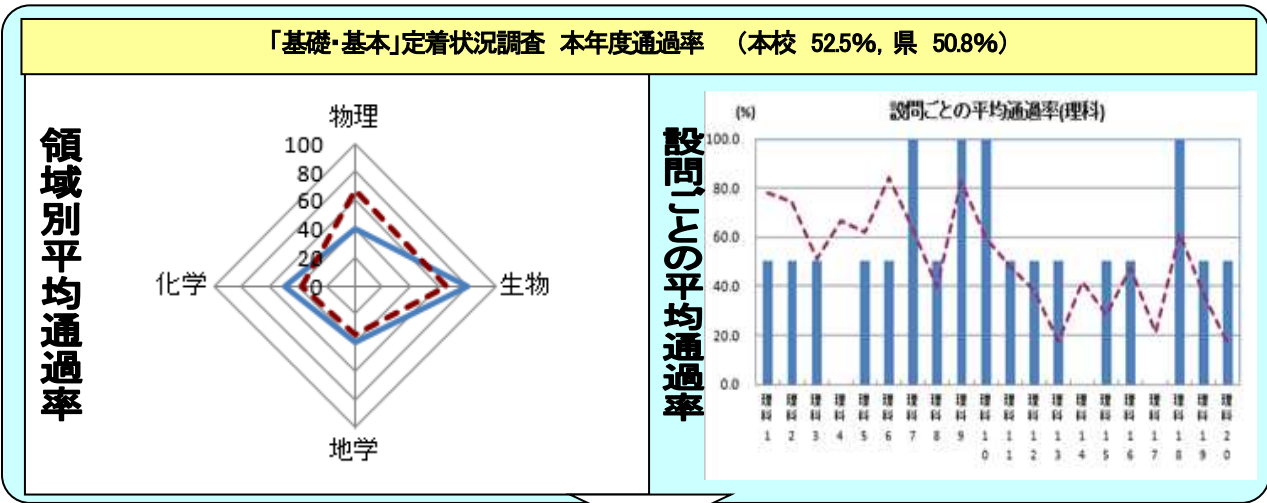
◎「基礎・基本」	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法					2年生 H29 「基礎・基本」	1年生 H29 「基礎・基本」	1年生 H29 「基礎・基本」類似
目標値					100%	75.0%	100%
実施後数値					100%	66.6%	100%

◇全国学力	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法				2年生 H29 「全国学力」		3年生 H29 「全国学力」	2年生 H29 「全国学力」類似
目標値				50.0%		80.0%	100%
実施後数値				50.0%		66.6%	100%

来年度に向けて

◎ 具体的事象に当てはめるなどして、自ら整理し、自ら何が課題かを理解できるようにする。復習とともに多様な問題を解くことで課題の解決方法を自ら考えるようにする

◇ 具体的事象を自らわかりやすく整理し、何が課題かを考えまとめることができるようにする。多様な問題を解き課題を解決できるようにする。



重点課題 ◎「基礎・基本」定着状況調査

◎① 物理分野の通過率は40%であり、5つの設問について全員が正解した問題がなく、通過率0%の設問が1つある。

◎② 同様に、地学分野の通過率は40%であり、5つの設問について全員が正解した問題がなく、通過率0%の設問が1つある。

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業等)

◎①② 問題演習を適宜行い、定期テストにも出題するなどして、理解の定着をめざす。各課題の領域(物理・地学)において、全員の通過率60%以上をめざす。

※ 全体を通して、知識・技能の通過率が45.3%で、昨年同様、理科学語の習得に課題があると考えられるので、授業の中で、わかりやすいたとえなどを使って、生徒理解を深めるようにしたり、理科学語とその説明をノートに書いて復習したりして、知識の定着を図る。(通過率80%)

◎「基礎・基本」①	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法					2年生 H29 「基礎・基本」	1年生 H29 「基礎・基本」	1年生 H29 「基礎・基本」類似
目標値					60.0%	60.0%	80.0%
実施後数値					100%	75%	100%

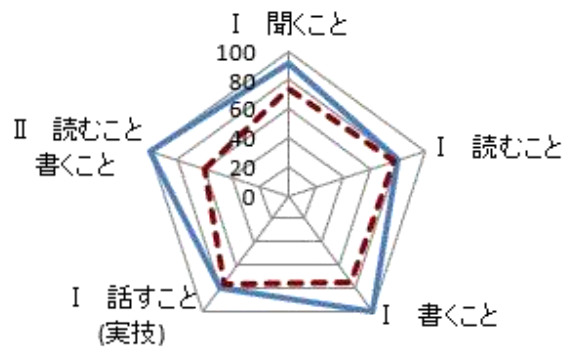
◎「基礎・基本」②	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法					2年生 H29 「基礎・基本」	1年生 H29 「基礎・基本」	1年生 H29 「基礎・基本」類似
目標値					60.0%	60.0%	80.0%
実施後数値					100%	75%	100%

来年度に向けて

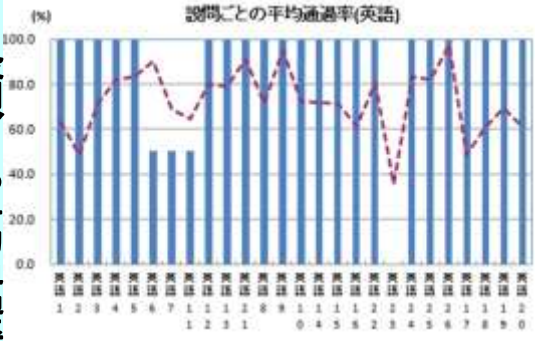
理科では、専門用語の獲得や計算のミスによる通過率の低下が目立つので、生徒にも好評であった説明に身近なたとえを使ったり、問題演習の回数を増やすなどして、通過率の向上をめざしたい。

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校 90.4%, 県 72.4%)

領域別平均通過率



設問ごとの平均通過率



重点課題 ◎「基礎・基本」定着状況調査

- ◎① 「話すこと」の領域において、実技 No.2 「What is Takuya (Tomoki) doing ?」の問いかけに対して適切に応じる問題に課題がある。
(実技No. 2 通過率0% 県通過率35.4%)
- ◎② 「読むこと」の領域において、文脈を理解して、空欄に適切な語を選ぶ問題に課題がある。
(I 5 通過率50% 県通過率69%)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業等)

- ◎① 質問文の内容を、文構造としても理解できる指導をしていく。また、既習文法を必然的に使う場面を授業の中に設定していく。
 - ◎② 短い英文を読んで、要約をする練習をペア学習で行う。また、応答文のみを提示して、その質問文を予測する練習も行う。
- ※ 小中一貫した取組については新学習指導要領をみそえ、即興的にやりとりをする場面を授業の中で設定する。

◎「基礎・基本」①	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法			2年生 H29 「基礎・基本」			1年生 H29 「基礎・基本」	1年生 H29 「基礎・基本」類似
目標値			100%			75.0%	100%
実施後数値			100%			75.0%	75.0%

◎「基礎・基本」②	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法			2年生 H29 「基礎・基本」			1年生 H29 「基礎・基本」	1年生 H29 「基礎・基本」類似
目標値			100%			75.0%	100%
実施後数値			100%			75.0%	100%

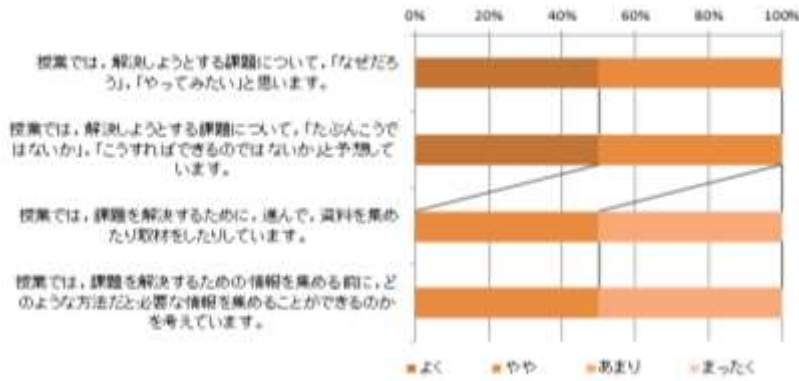
来年度に向けて

短い英文を読んで、内容を要約する練習を行う。また、既習文法事項を使う場面を授業の中で設定していく。

2 質問紙調査 (「基礎・基本」定着状況調査：生徒質問紙調査) (全国学力・学習状況調査：生徒質問紙調査)

(1) 生活・学習

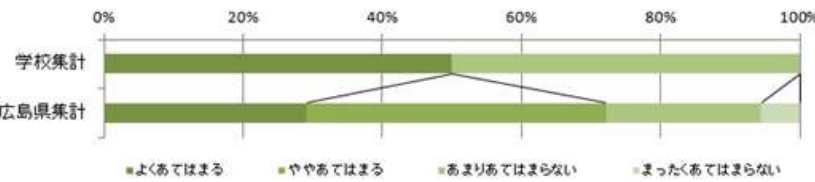
「課題発見・解決学習」(1)



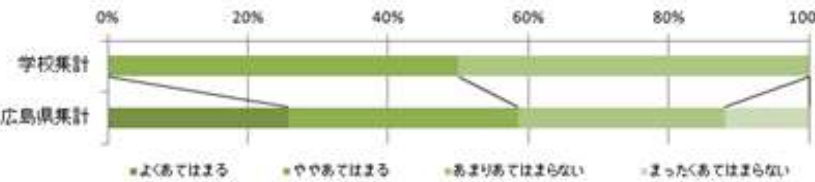
	生徒の回答についての課題 (現状値)	今後の具体的な取組の内容	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状からの伸び
基礎・基本	授業では、課題を解決するために、進んで、資料を集めたり取材をしたりしています。 (肯定的評価50%)	職場体験や合同発表会、修学旅行等の事前学習と事後学習で客観性のある根拠のある成果物を作成する。	2	100%	生徒アンケート調査	2月	100%	+50
全国	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか。 (肯定的評価50%)	ふるさと学習のまとめ発表やたくさんの方の生き方や思いに出会わせることにより、自分が地域のためにできることを考えさせる。	3	80%	生徒アンケート調査	12月	100%	+50

(2) 教科

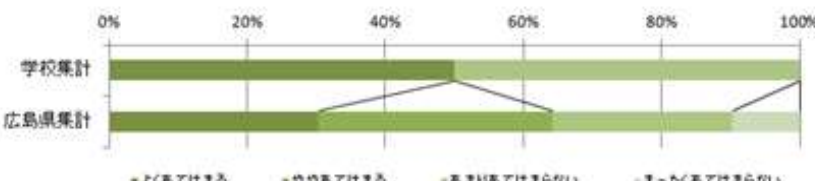
国語の授業では、伝えたいことの内容をはっきりさせ、組み立てを考えて文章を書いています。



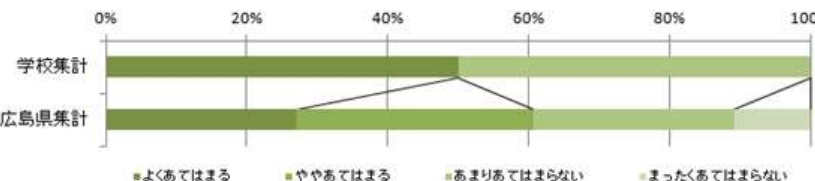
数学の授業では、式が何を表しているのかを考えたり、式に当てはまる問題を作ったりしています。



理科の授業の中で、学んだことの振り返りをしています。



英語の授業では、自分の考えや気持ち、事実などを英語で話しています。



	生徒の回答についての課題 (現状値)	授業改善の方向性や具体的な取組	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状からの伸び
国語	基礎・基本 国語の授業では、伝えたいことの内容をはっきりさせ、組み立てを考えて文章を書いています。 (肯定的評価50%)	伝えたいことの内容、根拠等を付箋紙に書き出し、順序を考え、構成する力を付ける。	2	100%	生徒アンケート調査	2月	100%	+50
	全国 400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことは難しいと思いますか。 (肯定的評価16.7%)	書き方の基本形を確認し、文章を書く機会を設けて、書くことへの抵抗感を減らしていく。	3	50%	生徒アンケート調査	12月	50%	+34
数学	基礎・基本 式が何を表しているのかを考えたり、式にあてはまる問題を作ったりしています。 (肯定的評価50%)	たまに授業で取り組んでいるが、回数的には少ないので、機会を増やして興味関心を高めていきたい。	2	100%	生徒アンケート調査	2月	100%	+50
	全国 授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか。 (肯定的評価66.7%)	興味が低いので、解ければ良いところで終わっている。関心を持たせ、いろいろな解き方を紹介したり、考えさせる機会を増やす。	3	80%	生徒アンケート調査	12月	83%	+17
理科	基礎・基本 理科の授業で、学んだことの振り返りをしています。 (肯定的評価50%)	今一度、授業の中で、観察・実験の目的を確認するとともに、授業の終わりの振り返りの時間をしっかりと確保する。	2	100%	生徒アンケート調査	2月	100%	+50
英語	基礎・基本 英語の授業では、自分の考えや気持ち、事実などを英語で話しています。 (肯定的評価50%)	必然的に自分の考えや気持ち、事実などを表現する場面を週に1回(ALT来校日)設定する。	2	100%	生徒アンケート調査	2月	100%	+50